

「生活設計とリスクへの備え」

【本日の授業内容】

- I .生活設計とお金
- II .リスクへの備え
- III .公的保障を学ぼう！
- IV .私的保障を学ぼう！
- V .まとめ

Ⅰ. 生活設計とお金

～将来について考えてみよう～



将来を考える

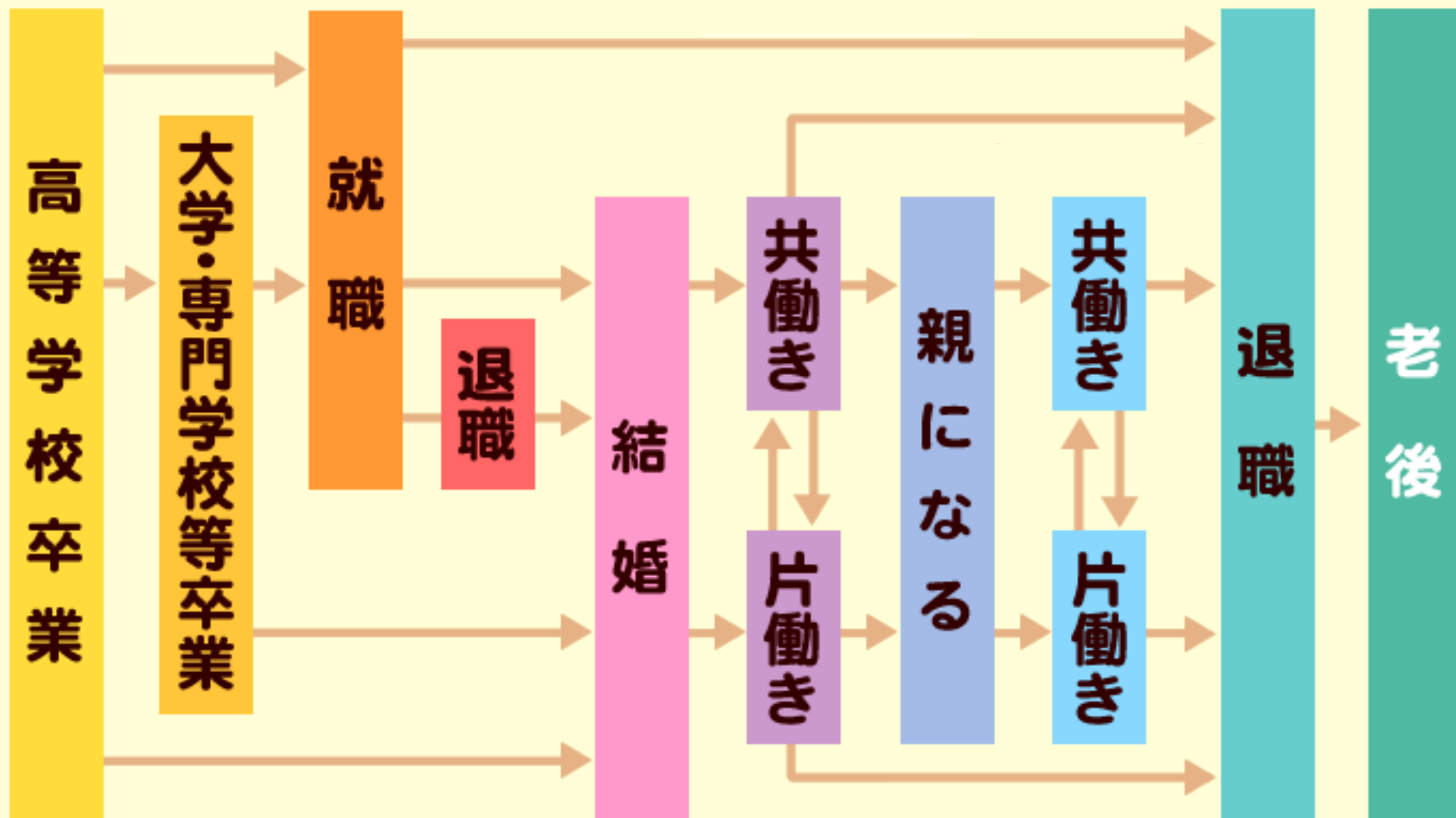
★将来の「夢」もっていますか？

- ・卒業後はどうしたい…？
- ・どんな職業につきたい…？
- ・結婚したい…？
- ・子どもはほしい…？



さまざまなライフコース

★それぞれの生き方を「ライフコース」とよびます



さまざまなライフイベント



進学



独立(1人暮らし)



結婚



親になる



住宅購入

ライフイベントとそれにかかる費用



結婚

【問題】 結婚にかかる費用はどれくらい？

※結納・婚約～新婚旅行までにかかる費用

A.約250万円 B.約350万円 C.約450万円

【答え】 C.約450万円 ⇒ (平均) 461万円

※親、親族等からの結婚援助費用は考慮せず

<リクルート「ゼクシィ結婚トレンド調査2015」>



住宅購入

【問題】 一軒家を購入するのに必要な費用はどれくらい？

※土地付き注文住宅の場合（全国平均）

A.約2,000万円 B.約4,000万円 C.約6,000万円

【答え】 B.約4,000万円 ⇒ (平均) 3,898万円

<住宅金融支援機構「フラット35利用者調査」2015年度>

人生における教育費



親になる

【問題】 子ども一人にかかる教育費はどれくらい？

※幼稚園～大学（4年・文系・自宅）全て国公立の場合

A.約500万円 B.約750万円 C.約1,000万円

【答え】 C.約1,000万円 ⇒（平均）1,077万円

※教育費とは別に養育費（食事、衣服費等）が必要。

（万円）

	国立・公立	私立
幼稚園 （3年間）	67	149
小学校	193	922
中学校	145	402
高校	123	299

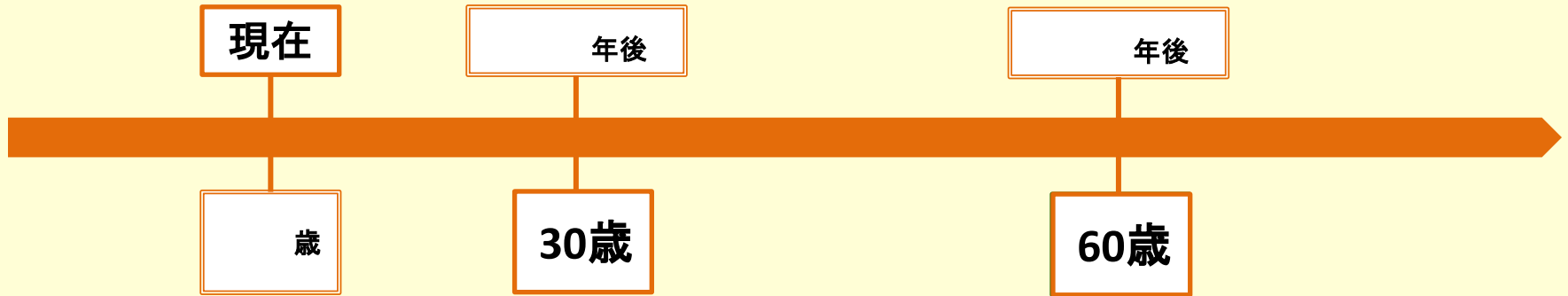
文部科学省「平成26年度 子供の学習費調査」

（万円）

	自宅	下宿
大学 （国立）	549	847
大学 （私立理系）	838	1118
大学 （私立文系）	705	984
短期大学 （私立）	388	533

30歳になったときの自分を描いてみよう

未来の自分はどこで何をしているでしょうか。自由に描いてみてください



<30歳になったときの自分>

- ・どんな職業についている？
- ・どこに住んでいる？
- ・誰と住んでいる？

II. リスクへの備え

～3つの保障を理解しよう～



高校生に身近なリスク

交通事故



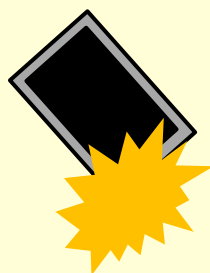
財布を紛失



自転車の盗難



スマホを破損



病気で入院



リスクとは...

起きてほしくないことで、起きるとお金がかかること

生活設計に影響のある重大なリスク

交通事故



交通事故の発生件数

536,899件

<H27「交通事故発生状況」(警察庁)>

→約59秒に1件

病気で入院



1日平均
新入院患者数

43,171人

<H27「医療施設調査・病院報告」
(厚生労働省)>

→約2秒に1人

一家の働き手が 亡くなった



65歳までに
亡くなる割合

男性:約9人に1人
(11.2%)

女性:約17人に1人
(5.8%)

<H27「簡易生命表」(厚生労働省)>

リスクに直面した高校生の事例

男子高校生が昼間、横断帯のかなり手前の歩道から車道を斜めに横断し、対向車線を自転車で直進してきた男性会社員（24歳）と衝突。男性会社員に重大な障害（言語機能の喪失等）が残った。

（東京地方裁判所、平成20年6月5日判決）

＜一般社団法人日本損害保険協会「ファクトブック2015」＞



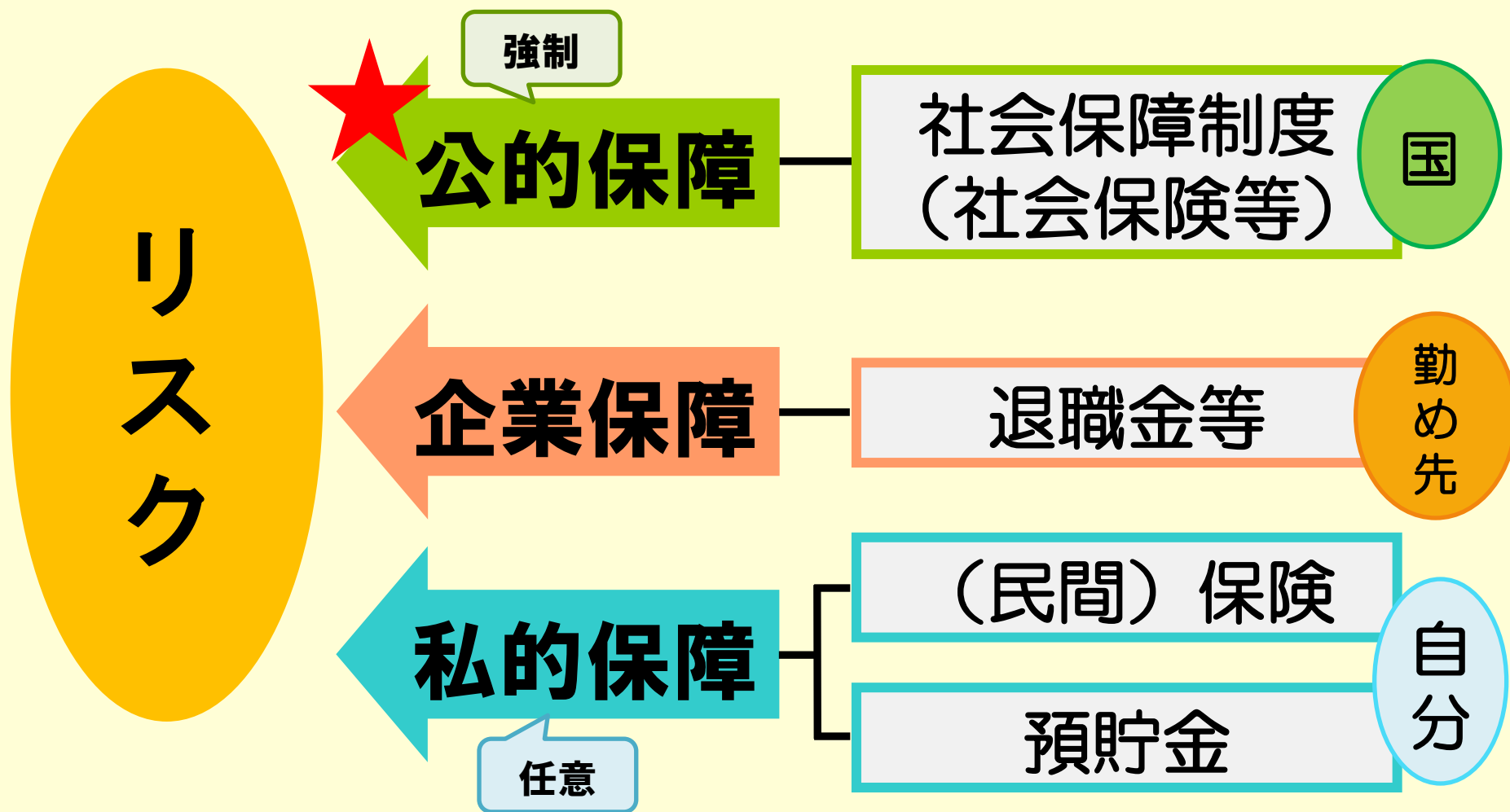
⇒ **賠償額** 被害者の損害に対して、加害者が支払わなければならない金額 **:9,266万円**

- ・ 日常の中にリスクは沢山ひそんでいます
- ・ 自分の心がけで、ある程度のリスクを避けることができます

★避けられないリスクはどうすればよいでしょうか？

リスクへの備え

保障: もしものときに生活を守るもの

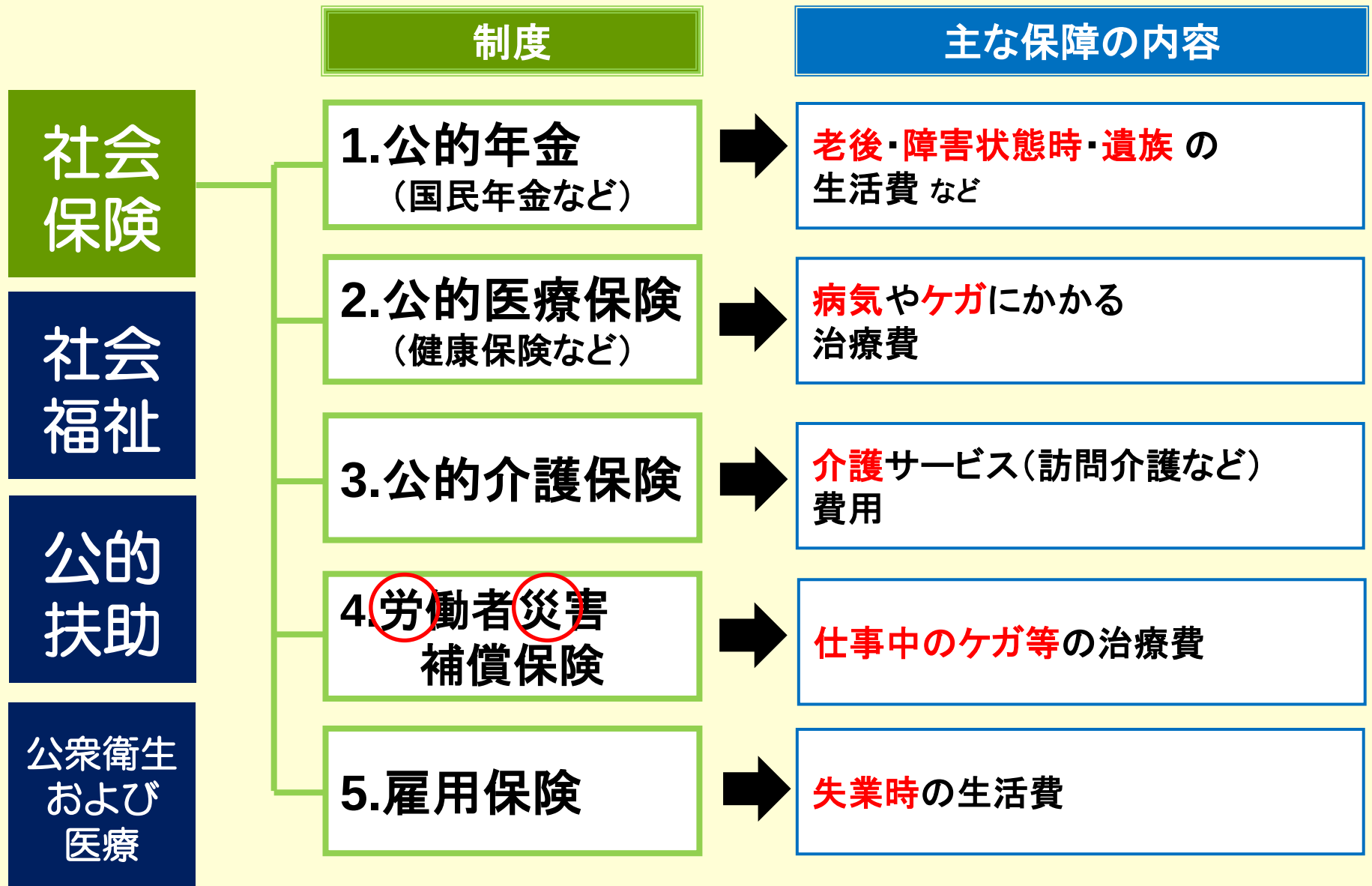


III. 公的保障を学ぼう！

～国民の生活を守るための国からのサポート～



社会保障制度のあらまし



例えばこんなときには？

それぞれの状況で、どの社会保険から保障が受けられるか線で結んでみましょう

状況



老後を迎えて
収入が無くなった



会社が倒産した



介護状態になった



家計の担い手が
亡くなった



病気で入院した



仕事でケガをした

制度

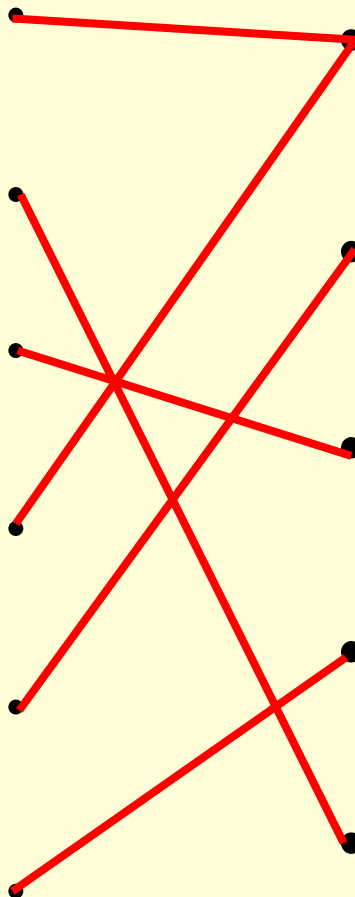
公的年金
(国民年金など)

公的医療保険
(健康保険など)

公的介護保険

労働者災害補償保険

雇用保険



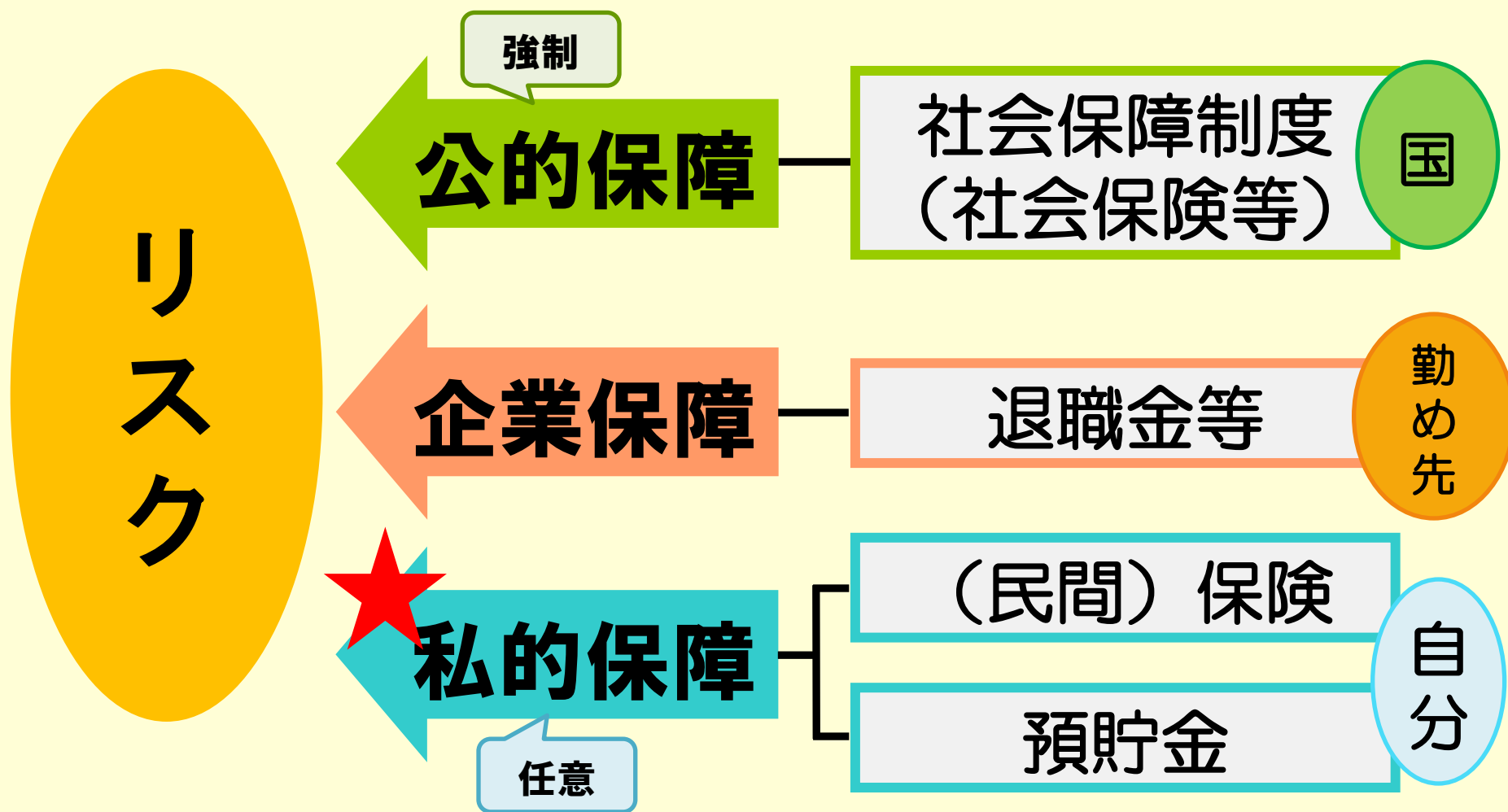
IV. 私的保障を学ぼう!

～自分たちの生活を守るために自分たちで準備するもの～



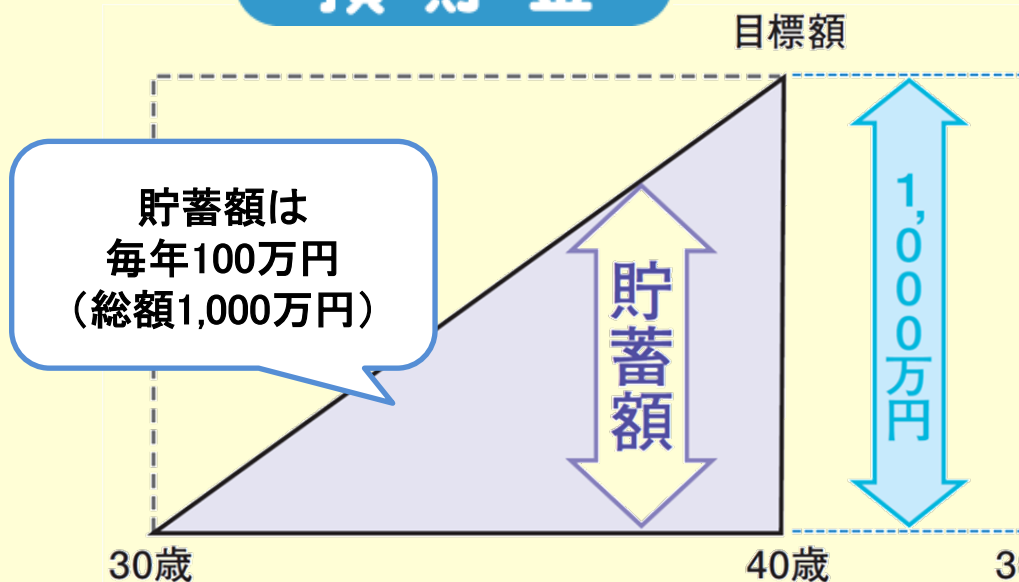
リスクへの備え

保障：もしものときに生活を守るもの

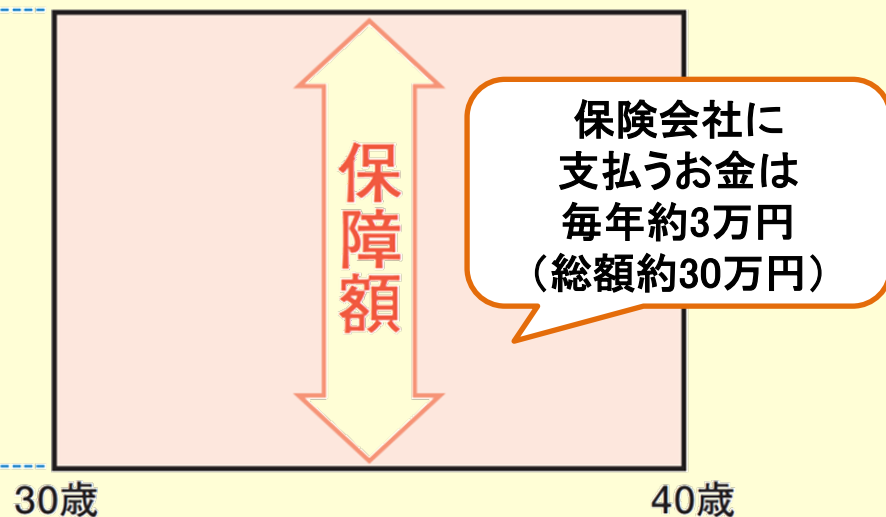


預貯金と保険の違い

預貯金



保険



	預貯金	保険
メリット	貯めたお金は自由に使うことができる	途中で万一のことがあった場合、あらかじめ決められた金額を受け取ることができる
デメリット	途中で万一のことがあった場合などに、必要な金額が貯まっているとは限らない	一般的に、保険会社に支払ったお金 (保険料) は戻ってこない

注：1. 貯蓄額は利子や税金などを考慮しない金額。

2. 保険料は男性 (30歳) 契約で、保険期間10年、保険金額1,000万円の定期保険の例。実際の保険料は保険種類や契約内容、生命保険会社によって異なる場合があります。

保険とはどのようなもの？

保険に加入すると・・・



お金(保険料)の
支払い



保険会社

リスクが起これと・・・



お金(保険金)の
受け取り

保険のしくみ①

100人の部員がいる
サッカー部



毎年5人の部員が
骨折をしている



対策をしても
ケガは減らない...

骨折による費用は
ひとり1万円



保険のしくみ②

全員でケガにかかる
費用を準備すれば
よいのでは？



ケガによる費用は
全員分で
 $1\text{万円} \times 5\text{人} =$

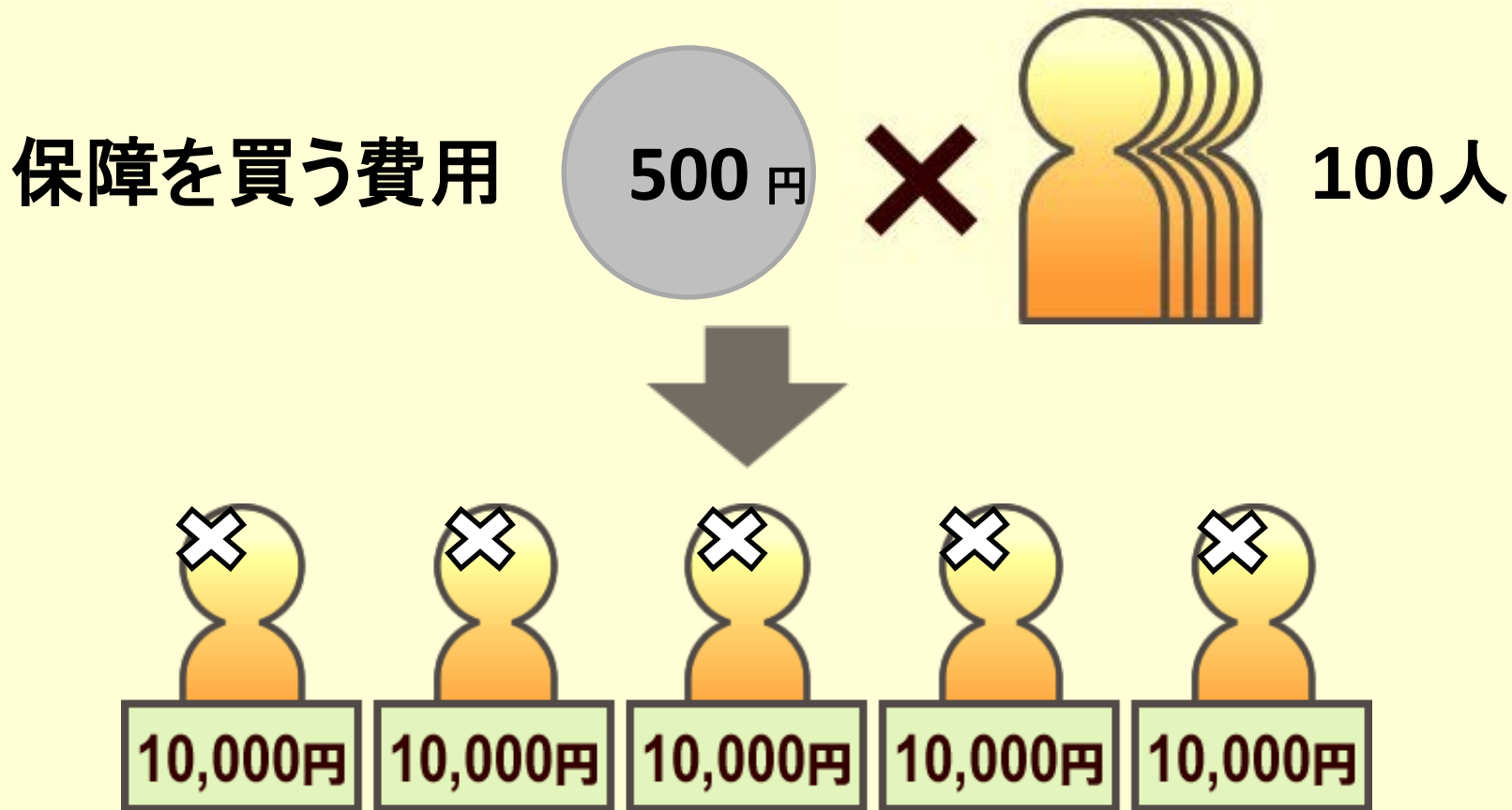
➡ **50,000円**

$5\text{万円} \div 100\text{人} =$

➡ **ひとり年間500円**

骨折した生徒は
1万円を受け取り、
治療費にあてる

ケガに備える保険



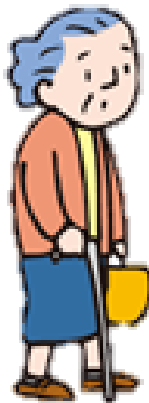
- ・ケガをした5人は1万円ずつ受け取り、治療費を支払える

生命保険と損害保険の違い

生命保険

「人」を対象とした保険

お父さんが
亡くなったら...



歳をとったら
どうやって
生活しよう...

入院したら...



損害保険

「物」を対象とした保険



交通事故を
起こしたら...



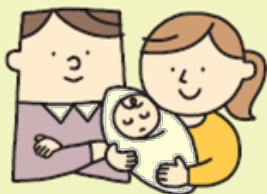
火事に
なったら...

代表的な生命保険の種類

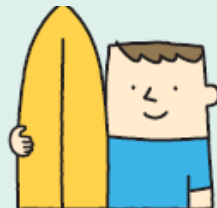
目的	保障の内容	種類
「万一」の保障	死亡 すると、遺族の生活費等としてお金(保険金)を受け取れる	定期保険 養老保険 終身保険
「病気・ケガ」の保障	病気やケガ により入院や手術をしてお金(給付金)が受け取れる	医療保険
「老後」の保障	あらかじめ決められた年齢になると決められた期間お金(年金)が受け取れる	年金保険
「介護」の保障	介護 状態になるとお金(給付金)が受け取れる	介護保険

生活設計と生命保険

結婚して、
子どもが
生まれました。



スノボ、サーフィン…
アウトドア
大好きです。



老後のお金、
大丈夫かしら。



介護のことも、
やっぱり
心配だなあ。



「万一」の保障

「病気・ケガ」の保障

「老後」の保障

「介護」の保障

定期保険・養老保険
・終身保険

医療保険

年金保険

介護保険

★自分の生活設計に応じて、必要な保障を考えましょう

V. まとめ



まとめ

- ・「生活設計」は自分らしい生き方をするためにも大切です
- ・リスクに対して、「公的保障」・「企業保障」・「私的保障」で準備することができます
- ・私的保障の「預貯金」と「保険」は、特徴を理解した上で使い分けることが重要です
- ・必要な保障は、人それぞれです